

ギカイだより

9月定例会号

～主な掲載内容～



平成28年度決算の審査のため
特別委員会が設置されました。

➡ 2ページ



本会議中の地震発生を想定した
防災訓練を実施しました。

➡ 9ページ

GIKAIDAYORI contents

決算審査速報……………	2～3
9月定例会の概要……………	4
一般質問……………	5～9
市議会防災訓練を実施……………	9
委員会レポート……………	10
審議結果・視察……………	11

平成28年度 決算の審査速報

～皆さんの税金はこの1年どう使われたのか～



一般会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
231億4,756万円	223億5,628万円	7億9,128万円	7億3,061万円

特別会計(国民健康保険など9会計)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
153億5,565万円	152億8,283万円	7,282万円	6,675万円

企業会計(収益的収支の状況)

会 計	収 益	費 用	損 益
病院事業	52億9,217万円	55億314万円	△2億1,097万円
水道事業	21億3,169万円	12億1,460万円	9億1,709万円

(万円未満を四捨五入)

一般会計実質収支額は7億3,061万円(前年度比13.3%減)の黒字となりました。また、国民健康保険特別会計は、△7,322万円と、平成27年度に引き続き実質収支赤字となっています。

総務費

庁舎管理、財務、選挙、地方振興など市の全般的な管理に要する経費

32億4,222万円

民生費

児童・障がい者・高齢者福祉や生活保護などに要する経費

60億3,736万円

衛生費

健診や予防接種などの健康づくり、塵芥・し尿処理などに要する経費

23億8,115万円

農林水産業費

農業・水産業の振興、地籍調査などに要する経費

4億1,835万円

商工費

商工業の育成、観光振興などに要する経費

3億5,252万円

土木費

道路や橋梁、公園、公営住宅の維持管理や都市計画などに要する経費

14億7,362万円

港湾費

坂出港等の港湾及び漁港の維持管理などに要する経費

5億647万円

消防費

消防や風水害等の災害防除並びに災害発生時の活動に要する経費

8億3,383万円

教育費

幼・小・中学校の管理運営や生涯学習・スポーツ、文化財保護などに要する経費

20億1,464万円

特別委員会を設置して決算認定議案を集中審議!!

市議会では、決算審査特別委員会を設置して「予算が適正に使われているのか」「それぞれの予算を使って取り組んだ事業は期待通りの結果となっているのか」を審査します。

閉会中の継続審査として集中的に審査された決算認定議案は、12月定例会にて採決が行われる予定です。

【総務消防委員会関連】

ふるさと坂出応援寄付(ふるさと納税)では、平成28年度より実績のある専門業者に効果的なPRの実施等を委託するとともに、クレジット決済の利用や返礼品の充実など、より多くの方から応援してもらえる方策に取り組んでいます。

Q 歳入面では増収がある一方、寄附金税額控除による個人住民税の減収も見込まれる。さらに、現在全国自治体間の返礼品競争が過熱する中であるが、今後の取り組み姿勢は。

A ふるさと納税は返礼品による特産品のPRや地域経済の活性化も目的としていることから、特産品の製造及び販売を行う市内事業者の意向も確認しながら魅力ある返礼品を検討しつつ、今後ともふるさと納税を通じた歳入確保に取り組んでいきます。

【市民建設委員会関連】

平成28年1月から交付が始まったマイナンバーカードは、全国的に見ても普及率が低い状況です。そのような中、コンビニで各種証明書を発行できる機能を付加するなど、普及率向上に向けた取り組みに努めています。

Q システム改修をはじめ、要した多額のマイナンバー関連の経費を有意義なものにするためにも、普及率の高い自治体の取り組みを研究し、本市にも取り入れるべきでは。

A 普及率向上のためには、本市独自の機能を付加する必要があると考えます。一例として、図書館利用カードへの活用など、今後、全庁的な課題としてさまざまな方策を検討していきます。

【教育民生委員会関連】

Q 認知症総合支援事業である認知症カフェや認知症初期集中支援事業に取り組んでいるが、参加者数が少ないこと等懸念される。対応策は検討しているか。

A カフェの委託事業者同士の連絡会を設置し、情報共有に努めたり、模擬カフェを実施するなど事業内容の充実及び認知度向上に向け取り組んでいます。

《委員の意見》

認知症に係る諸問題には、行政だけでなく地域も共に取り組むことが重要であるが、行政主導の対応には限界があると思われる。まずは、国の施策のモデル事業を活用して、地域の支援力強化を目指してはどうか。

【教育民生委員会関連】

Q 学校給食の調理業務を一部委託しているが、従業員の配置など事業者も苦慮していると聞く。今後の学校給食のあり方について、どのように考えているか。

A 安全で安心な学校給食の提供を最優先に、調理場のあり方については、自校方式か共同調理場方式か等他市の状況も注視しながら、今後、庁内で検討していきたいと考えています。



決算審査の日程

10月 2日(月)	総務消防委員会関連 (総務部・消防)
10月 3日(火)	教育民生委員会関連 (健康福祉部・市立病院)
10月10日(火)	教育民生委員会関連 (教育委員会)
10月11日(水)	市民建設委員会関連 (市民生活部・水道局)
10月16日(月)	市民建設委員会関連 (農業委員会・建設経済部)
11月13日(月)	総括・まとめ

委員構成

【委員長】	植條 敬介
【副委員長】	前川 昌也
【委員】	東原 章 鳥飼 年幸
	出田 泰三 茨 智仁
	大前 寛乗 山条 忠文



9月定例会の概要

9月定例会では、初日に市長から条例制定案1件、条例の一部改正案3件、補正予算案3件、香川県広域水道企業団の設置などその他議案4件、平成28年度の決算認定12件の計23件が提案され、決算認定を除く11議案について各常任委員会での審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には人事案件2件が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

(議案の審議結果は11ページをご覧ください。)



空家等の適正な管理を!

坂出市空家等対策の推進に関する条例

近年、適切な管理が行われず、地域住民の生活環境に深刻な問題を及ぼしている空家等が増加し、社会問題となっています。問題解決に向け、本市においても空家等対策を総合的かつ計画的に実施するための条例を定めます。

条例では、市ができることとして、

- 管理が十分にできていない空家等に対する立入調査
- 緊急安全措置の実施

を定めていますが、空家等の適切な管理はあくまで所有者、管理者の責務です。適切な管理状態の維持を心掛けてください。

緊急安全措置とは・・・

道路等の公共の場所において、空家等の状態により、緊急に危険を防止、または、回避する必要がある場合に、空家等の所有者等の同意がなくても、必要最小限度の措置を講ずることです。例えば、「瓦の落下防止等のため建物へ防護ネットを設置する。」「倒れそうな樹木をロープで補強する。」ことなどです。即時執行でき、その措置に要した費用を所有者等に請求できることとしています。



補正概要

総務費

老朽危険空き家除却支援事業補助金 1,600万円

老朽化し危険な空き家の取壊し(除却)に対し補助金を交付

土木費

道路整備及び舗装工事 4,100万円

学園通りの東側歩道を幅員1.5mから2.0mに拡幅



脇 芳美 議員

新緑



市道綾坂線鼓岡第一踏切の拡幅を

Q 当該踏切は幅員が狭いにもかかわらず、交通量が多い上に小・中学生の通学路にもなっている。早急に拡幅する必要があるのではないか。

A 踏切の整備は、近隣の踏切との統廃合による整備が基本となっています。鼓岡第一踏切においては、鼓岡第二踏切を廃止し、当該踏切に統合する意見が地元関係者の協議でまとまり、同意書が提出されました。これを受け、昨年度現地の測量設計を実施しました。



現在、踏切拡幅計画を含めた市道綾坂線の道路拡幅、県道との交差点改良についてJRや関係機関との協議を進めています。それらがまとまり次第、地元関係者に説明を行い、事業の進捗を図ってまいります。
(建設経済部長)

市が推進している
受動喫煙防止策は

Q 受動喫煙が原因で死亡する人は年間約1万5千人にもなるそうで、受動喫煙による健康被害は深刻な問題である。国では、受動喫煙対策を強化する健康増進法改正案について、秋の臨時国会への提出を目指しているようである。本市における受動喫煙防止策にはどのようなものがあるのか。

A 第二次坂出市健康増進計画において、タバコの害から自分と家族の健康を守ろうという目標を掲げ、啓発活動を実施しています。昨年度は、川崎重工業の工場祭において、タバコの害のパネル展を実施し、また、健康講演会や医師のお話も「タバコの害」というテーマで開催しました。

さらに、母子健康手帳交付時やこどもには赤ちゃん訪問などの機会を通じ、家族の禁煙指導なども実施しています。
(健康福祉部長)

質問の
主な項目

・土地開発行為について
・ヒアリについて

出田 泰三 議員

市民の声



学校での平和教育・平和学習の現状と課題は

Q 今や日本人の8割以上が戦後生まれとなり、戦争の実相を語る人もいなくなりつつある中、子供たちに戦争の記憶を伝え、受け継いでいくことが、大人の役割、使命である。現在学校で行っている平和教育・平和学習について、現状と課題を伺う。

A 高松空襲を取り上げた授業や地域の戦争体験者による話を聞くことで、戦争の悲惨さや平和の大切さを再認識しています。また、広島への校外学習、長崎や沖縄等への修学旅行時に、被爆や戦争の体験を語り部のかたから直接聞く機会を設けています。

しかし、語り部のかたの高齢化が進み、そのような機会が減る一方で、教師は、急激な若年化により、祖父母等から直接戦争体験を聞く者が少なくなっています。

教育現場とともに指導のあり方を工夫し、平和で民主的な国家社会の形成者として必要な資質を備えた人物となるような教育を推進していきます。
(教育長)

教職員の勤務状況の改善を

Q 教員の勤務状況の改善に向け、中央教育審議会が文部科学省に、教員のタイムカードの導入や部活動の休養日を設ける等の提言を行った。本市の今後の方針はどうか。

A 教職員の勤務実態の適正な把握方法については、校長会とも十分に協議し検討します。部活動については、現在も月に2回程度休養日を設定していますが、今後、文科省が作成するガイドラインや県教育委員会が立ち上げるプロジェクトチームの動向も注視しながら、実効性のあるものを検討していきたいと考えています。

なお、現在も教員以外のスタッフを配置し、専門的サポートによる指導体制の充実に努めているところですが、今年度よりコミュニケーション・スキル設置研究事業を行っており、今後も業務改善と学校支援体制の両面から整備することで、教員の多忙化解消、勤務環境整備に取り組めます。
(教育長)

質問の
主な項目

・にぎわいづくりについて
・文書管理について

一般質問

吉田 耕一 議員

新政会



坂出ニューポートプランの 着地点は

Q 8月に坂出ニューポートプラン検討会議が開催されたが、今後は議論の着地点をどこに定めて、検討会議を重ねていくのか。

A 当該プランの策定は、坂出港の振興、発展に資することを目的としており、目標年次はプラン策定後、概ね10年としています。10年先には、坂出北インターチェンジのフル化も実現している予定であり、港湾施設の整備に関することに限らず、坂出港の振興について、幅広い観点から検討を進めていきたいと考えています。

今後、検討会議委員だけでなく、企業の方々から伺った、意見、要望についても会議の中で検討を重ねることにより、これからの坂出港の進むべき道や方向性が見いだせるプランの策定につなげたいと考えています。

(建設経済部参事)

質問の 主な項目

- ・緩衝緑地の有効活用について
- ・町なか再生の推進について
- ・さかいで大橋まつりについて

クルーズ船を誘致するため の取り組みは

Q 坂出港の振興、発展という意味ではクルーズ船の誘致は大きな意味をなすものだと考える。クルーズ船会社と直接面談する商談会にポートセールの一環として、本市も参加してみてもどうか。

A クルーズ船の誘致において、商談会に参加し、船会社と直接面談することは、非常に有効な手段であると考えています。

今後は、既存岸壁の利用状況等を勘案し、船会社や旅行会社への訪問の機会を利用したPR活動や地元への招待等について四国地方整備局や香川県と調整、協議する中で、商談会への参加も検討していきたいと考えています。

(建設経済部参事)



野角 満昭 議員



坂出市スポーツ推進計画 の策定を

Q スポーツ基本法第十条では地方スポーツ推進計画の策定を求めているが、本市ではどのように検討しているのか。

A 魅力ある実効性に即したスポーツ推進に取り組むため、第二次坂出市健康増進計画には身体活動、運動についての目標を掲げており、教育大綱に基づく具体的計画の基本施策においてもスポーツの推進を位置付けています。また、ラジオ体操普及事業についてもこれらの中で取り組みを進めています。

今後は、市民の皆様が一層スポーツに関心を寄せ、楽しんだり、スポーツを振興させていくことが非常に大切であることから、当該計画の策定について、検討も必要であると考えています。

(教育委員会参事)



公共施設等総合管理計画と 学校再編整備実施計画との 関連性は

Q 公共施設等総合管理計画の影響により、学校の統廃合が加速化されるのではないかと懸念しているが、これらの計画の関連性はどうなっているのか。

A 公共施設等総合管理計画では学校施設の今後の基本方針として、学校再編整備実施計画を踏まえ大規模改修等の検討も含め長期的に維持管理していくこととしています。

再編整備実施計画は、将来構想の段階にあり、対象となっている学校とは今年度より、協議を行い、現在取りまとめ中です。

学校施設の多くは老朽化が進み、その対策として大規模改修等や統廃合を検討するべき時期が来ると思われますが、これまで通り保護者や地域の皆様への十分な説明とともにご理解、ご協力を頂く中で進めたいと考えています。

(教育部長)

質問の 主な項目

- ・国民健康保険の都道府県単位化について
- ・公園のトイレの改修について

茨 智仁 議員

新政会



学園通りのさらなる整備を

Q 学園通りには幼稚園から高等学校までの教育機関が数多く存在し、まさに文教ゾーンである。

学校の統廃合も進む中、これらの学校園が今のまま存在し、通学する児童生徒の安全をさらに担保するためにも、今以上に踏み込んだ整備が必要ではないか。

A 学園通り東側の歩道部について現在幅員1.5メートルから2.0メートルに拡幅し、歩道を切り下げることにより、段差構造を解消する整備工事を行っています。

さらなる整備については、文教ゾーンにおける学園通りのあり方も含め、利用状況を見極めたうえで、将来的には歩行者を優先した整備も考えていきます。具体的には、通勤の車は現在整備中の福江松山線から富士見町線へ流れ、学園通りには侵入しないような整備を考えていきたいと思います。

(建設経済部長)

質問の
主な項目
・ 歳入確保施策について

市道文京町4号線の
早急な拡幅を

Q 旧市立病院跡地に建設を考えている集客性を有し地域交流等が図れる複合施設へのアクセス、また、駒止谷内線とのスムーズな導線の確保のためには、文京町4号線の拡幅は必須ではないか。

A 文京町4号線は、都市計画道路駒止谷内線として幅員12メートルの都市計画決定を行っており、旧市立病院跡地へのアクセスや周辺道路との接続等も考慮すると、利用計画を踏まえた道路拡幅や駒止谷内線との接続交差点の整備が必要であると考えています。

(建設経済部長)



前川 昌也 議員

土地改良事業補助金を増額
し、農業者の負担軽減を

Q 農業振興において、水路や農道などの基盤整備は必要不可欠であるが、農業者にはかなりの負担となっていることから、土地改良事業補助金の補助率を引き上げ、負担の軽減を図るべきでは。

A 補助金を増額した場合は、農業者の負担軽減が図れ、基盤整備が促進され、遊休地の減少につながると考えられますが、予算の増額が伴うので、場合によっては申請に対して執行できない地区が発生することもあります。

市費単独土地改良事業については、各土地改良区において協議中であり、その結果をもとに補助金の見直しを検討していきたいと考えています。また、その検討結果を踏まえ、単独県費補助土地改良事業も補助金の見直しについて検討していきたいと考えています。

(建設経済部長)

広域行政を抜本的に再考
する時期にきているのでは

Q 坂出、宇多津広域行政事務組合は、全国でも稀な1市1町での広域行政事務組合だが、広域行政を再考し、定住自立圏等を締結する考えはないか。

A 本市と宇多津町は信頼関係をもって連携してきた経緯もあるため、まずは宇多津町と、ごみ処理施設の長寿命化など、将来的な財政負担の軽減に向けた協議をしていきたいと考えています。

なお、今後の協議の進展状況によつては、将来的な財政負担の軽減を図るためにも、長期的な視点に立ち、定住自立圏や連携中枢都市圏など、新たな枠組みでの広域連携を含め、あらゆる可能性を排除することなく、柔軟に検討していく必要があると考えています。

(市長)

質問の
主な項目
・ 旧市立病院跡地の活用について
・ 学校給食について
・ 一般廃棄物の処理について

東原 章議員
市民グループ未来の会



地域づくり団体全国研修
交流会香川大会坂出分科会
の内容と地域住民の協力は

Q 8月に交流の里おうごしで第35回地域づくり団体全国研修交流会香川大会坂出分科会が開催されたが、その内容と地域住民にどのような協力を得られたのか。

A 初日はオリエンテーションや意見交換会を開き、2日目は里海ツアーにて王越の自然のすばらしさを体験してもらうなど、2日間を通して、地域づくりに役立つ知識や技術の習得、新たな交流や連携の輪を広げることができました。

また、初日の夜に開催した交流会では、地元婦人会の方々による手作りの郷土料理が振る舞われ、分科会を委託していた、王越町共に生きるまちづくり推進協議会の皆様には、プログラムの綿密な打ち合わせや施設周辺の草刈りなど大変なご苦労をいただきました。そのかいもあり、分科会参加者からは、心温まるおもてなしに大変感動したとの言葉もいただいています。

(市民生活部長)

利用者の感想から見えてきた、交流の里おうごしの課題と対策は

Q 交流の里おうごしの利用者を対象としたアンケート結果から見えてきた、当該施設の課題と今後の対応策は。

A 当該施設の利用満足度は高く、「今後も当該施設を利用してみたいですか」の問いにもほとんどの利用者が「はい」と答えています。

このような中で、今年は例年になく猛暑が続く、4団体からのエアコン設置要望を受けて、スポットクーラーによる利用者への配慮を講じました。

今後は、アンケート結果等も踏まえ、当該施設の利用者が、王越の豊かな自然と快適な環境を十分味わうことのできるような施設の整備を図っていききたいと考えています。

(教育委員会参事)

質問の項目
・住みたいまちさかいてについて
・健康のまちづくりについて

住みたいまちさかいてについて
健康のまちづくりについて

山条 忠文議員
改進の会



学校現場の業務改善目標推進
のため連携体制の構築を

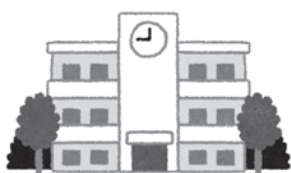
Q 学校現場の業務改善は喫緊の課題であるが、その目標を推進するためには、服務監督権者である教育委員会が委員会内に連携体制を構築し、また、勤務実態を把握する義務がある。今後、積極的な取り組みが必要では。

A 現在各学校において、教員が担うべき業務に専念できる環境を整備すること及び教員の長時間労働という働き方の改善をすることで業務改善に取り組んでいます。

これまでも定期的に校園長会で各学校に指導を行い、また、学校訪問時等を活用し、学校長及び管理者が積極的に教職員の勤務実態を把握するよう努めています。

喫緊の課題に対しては、継続した取り組みが必要であり、今後も各学校と連携、協議し、改善を図っていきます。

(教育長)



市税等の滞納額及び賦課
徴収業務に取り組む姿勢は

Q 市税等の滞納金額はいくらか。また、賦課徴収業務にあたり、法令の遵守とともに今後の取り組み姿勢は。

A 平成28年度決算で滞納繰越分を含めた収入未済額は、市民税約1億6,329万円、固定資産税約2億1,705万円、軽自動車税約1,547万円、国民健康保険税約3億4,987万円、介護保険料約2,432万円、後期高齢者医療保険料約489万円となっています。

市税等の未収債権の収納率の向上については、市民負担の公平性と財源確保の観点から、非常に重要であると認識しており、債権管理のさらなる適正化に向け、債権発生時における早期の取り組みを強化するとともに、悪質滞納者に対しては、法令に基づき厳正に対処するなど取り組みを強化していきます。

(市長、総務部長)

質問の項目
・我が事・九ごとの地域づくり
・モデル事業について
・新たな住宅セーフティネット制度について

我が事・九ごとの地域づくり
モデル事業について
新たな住宅セーフティネット制度について

松成 国宏 議員

公明党議員会



文教施設等の修繕を

Q 市民美術館では、展示会を案内する看板が見当たらないため、展示会を催していても、開催中なのかどうか判断できない。その他の施設でもペンキの剥落やクロスの破れなどが目立つ。これらの施設を修繕する予定はないのか。老朽化対策はどうなっているのか。

A 美術館の掲示板については、より多くの来館者を呼べるよう、サイズや設置場所等見直しを検討します。また、図書館の駐輪場は、利用者も多いため、今後の財政状況を勘案しながら、利便性の良い駐輪場の改修を検討します。郷土資料館は、保存と活用を十分に検討の上、耐震補強工事等を実施する必要があることから、具体的な時期については今後の課題です。産業展示館は、緊急度・危険度は低いものの修繕が必要な箇所が多く見られるため、適宜修繕していきます。

(教育部長、建設経済部長)

坂出ニューポートプラン
検討会議の内容は

Q 8月に開催された第1回坂出ニューポートプラン検討会議の内容と今後の予定について伺う。

A 会議の方針については、港をどう使うか等を議論するだけでなく、他の港との連携も検討することに加え、夢のある内容もプランに盛り込みながら、新しい考え方で坂出港・坂出市を活性化する意見を、という提案がありました。委員からは、新たな海上輸送貨物のニーズの掘り起こし、クルーズ振興等幅広い意見が出ました。

今後は、第1回会議での意見及び関連企業の意見を踏まえ、12月頃にプランの素案を取りまとめ、来年3月頃坂出ニューポートプランを策定したいと考えています。

(市長)

質問の主な項目

- ・快適な都市環境の整備について
- ・防災対策について
- ・四国新幹線について
- ・交通事故防止対策について
- ・観光振興について

●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。

防災訓練を実施しました。

昨年に引き続き、9月定例会最終日に、議会の本会議中の地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

さらに、今年度は、坂出市議会災害対策行動マニュアルに沿った初期対応等訓練を実施しました。議長により災害対策会議が設置され、議員は自身の安否等を事務局へ連絡するなど、実際の災害発生を想定し、議員、職員それぞれの動きを確認しました。

最後に、市危機監理室長より講評があり、今年度の訓練は、身を守る訓練に加え、情報伝達訓練が目的であったが、連絡系統図を使用して安否等の連絡を行うという基本を、全員で共通認識として持てたことは評価できるとのことでした。また、普段訓練を行っていないことは、実際の場においてはできないという話も聞き、訓練の重要性を再認識しました。

なお、会期中の各委員会においても、審査中の地震発生を想定した訓練を実施しました。



委員会 レポート Report

付託議案
3件

教育民生 委員会

全議案全会一致で可決



トクヤマグラウンドにかわるグラウンドを整備します。

現在サッカーグラウンドとして利用しているトクヤマグラウンドの代替地として、新たに借り受ける県有地（総社グラウンドに隣接）をサッカーグラウンドとして整備します。

なお、グラウンドは2面整備する予定です。



付託議案
2件

総務消防 委員会

全議案全会一致で可決



災害時に必要となる応急給水用資機材を購入します。

地域防災力や災害時の対応能力の向上を図るため、県の補助制度を活用し、組み立て式の給水タンク等を購入します。

Q 給水タンクは各避難所で保管するのか。

A 各避難所で保管するにはスペースの問題もあることから、平時は備蓄倉庫（高屋町）で保管し、災害時には各避難所へ設置して飲み水や生活水の供給に役立てます。



9月定例会の日程

9月 7日	本会議	提案説明
9月12日	本会議	議案質疑・委員会付託 決算審査特別委員会の審査
9月13日	本会議	一般質問(個人)
9月14日	本会議 委員会	一般質問(個人) 議会運営委員会の調査
9月15日	委員会	市民建設委員会の審査
9月19日	委員会	総務消防委員会の審査
9月20日	委員会	教育民生委員会の審査
9月27日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・討論・採決 追加議案の提案説明 追加議案への質疑・討論・採決

付託議案
8件

市民建設 委員会

議案第24号については採決により可決、
その他は全て全会一致で可決



香川県広域水道企業団が発足します。

水道事業及び工業用水道事業の経営に関する事務等を共同処理するため、平成30年度より、香川県広域水道企業団が発足します。

Q 平成40年度に水道料金の統一を図ることとなり、本市の料金はおおむね現行程度で維持される見込みとなっているが、それ以降の推移はどのようなのか。

A 現段階で具体的な数値等は示されていないものの、平成40年度に近い水準での推移が見込まれていることを県に確認しています。



平成29年 9月定例会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=19名

※議長は表決には加わりません。



市長提出議案

議案第24号 香川県広域水道企業団の設置について

原案可決に 賛成

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斉藤義明、出田泰三、茨 智仁、前川昌也、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫、吉田耕一、大前寛乗、山条忠文、東山光徳

賛成意見(要旨) 中長期的な視点に立ち、県下全体で費用負担を平準化し、より安全で安定した運営基盤の強化を図ることを目的とした当該企業団の設立は、市民にとって有意義なものである。

原案可決に 反対

野角満昭

反対意見(要旨) 今後起こりうる諸課題に対する解決策が示されていない現状にあっては、市民に混乱を招かないようできる限り現在の運営体制を維持するべきである。

全議員が賛成した議案
(可決・継続審査・同意)

市長提出議案

予 算

平成29年度坂出市一般会計補正予算(案)(第2号)など 3件

条 例

坂出市空家等対策の推進に関する条例制定など 4件

決 算

平成28年度坂出市一般会計決算認定など 12件

その他

土地改良事業計画の概要を定めることについてなど 3件
坂出市職員懲戒審査委員会委員の任命など 2件

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【議案内容等・審議結果】を
ご覧ください。

9月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市職員懲戒審査委員会委員

斉藤 義明 植條 敬介 吉田 清志 加藤 悟史 好井 和彰

◎坂出市教育委員会委員

古田 桂子

全国から坂出に!!

本市の施策を調査・研究するために、全国各地の議会が本市を訪れています。

7月1日から9月30日に来庁された7議会を掲載しています。

7月 4日 山形県山形市 新病院建設の経過・病院改革プランの概要について

5日 静岡県裾野市 市民後見推進事業について

21日 千葉県市川市 市民後見人制度について

24日 三重県四日市市 国際交流事業について

25日 福島県二本松市 市民後見推進事業・認知症初期集中支援事業について

8月 2日 島根県江津市 認知症初期集中支援事業について

22日 群馬県安中市 認知症初期集中支援事業について





さかいで発見! vol.1 「鎌田池周辺」



提供:坂出市立大橋記念図書館

ボート遊びをしている左の写真は昭和31(1956)年4月に撮影された鎌田池で、後ろの山は「常山」です。現在の写真と比べて見て下さい。



提供:坂出市立大橋記念図書館

左も同じ年に撮影された鎌田池で、手前の中池は昭和48(1973)年に埋め立てられ坂出中学校に生まれ変わりました。池の土手沿いの桜はこの頃植えられたとされていて、毎年春になると市内外から多くの人を訪れ、満開の桜のアーチの下をゆっくりと散策しています。



明治20(1887)年、当時の福江村の有志が、鎌田池から北東すぐの丘陵地に村民の公園として「偕楽園」を開園(坂出市史より)。今はその面影はなく、森の中に記念碑が1基残っているだけです。



編集後記

阪神淡路大震災時は、防災上の観点より、「自助」「共助」「公助」が問われたが、今や高齢者・障がい者・子育て世代等への温かい支援の輪、つまり包括的に支える地域づくり、「地域共生社会」の必要性から、「自助」「近助」「共助・互助」「公助」が強調されているようです。これからの自治会・町内会からの共働のスタンスは、まさに地域コミュニティ意識の啓発であり、近くの人が近くの人を助ける「近助」の精神から、同じ地域に住んでいる運命共同体であるお隣さん意識「共助・互助」の精神を育むことが重要です。具体的には、自分自身のまわりの人たちへの関心や愛着を持つことがまず基本であり、その活動は、あくまで自主的、自立的で、各地域の特性を踏まえての着実な環境づくりを図らなければならないと思います。(村井)

広報広聴委員会 委員長……出田泰三 副委員長……植原 泰
委員……鳥飼年幸 若谷修治 村井孝彦
若杉輝久 松成国宏 楠井常夫

表紙の写真

「明日へ」

坂出高等学校3年 石井 優希さん

市外より、坂出市を含む瀬戸内海の風景を眺望しました。美しい夕日と行き交う船を眺め、「また明日もがんばろう。」との思いを込めてシャッターを切りました。

